

令和5年度府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- 「思考・判断・表現力」がやや低い。
- 読み取ったことを書くことが苦手である。
- 学習に対して意欲的に取り組む児童が多いが、学んだことを家庭や日常生活で生かそうとする児童が少ない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ゴールのイメージを明確にし、問題解決的な学習を行うことで、児童の主體的な学びとなるような授業を目指す。
- 友達と共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業にしていく。
- 知識をつなげ、深く理解したり考えを形成したりできるような授業をする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- 学習のゴールのイメージをもち、問題を発見し、見通しをもって解決の筋道を考えることができる。
- 学び合い、新しい発見や豊かな発想が生まれるようになる。
- 自分の考えを表現し、学習活動を振り返って次につなげることができる。

(2) 目指す授業像

- 児童が「やってみよう！」「おもしろい！」といった意識を喚起させる資料の提示や体験活動を意図的に設定する。
- ペア・トリオなどでの交流活動を積極的に行い、考えを広げ・深め・高め合えるようにしていく。
- 書く活動を取り入れ、活動を振り返って次につなげることができるようにする。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	書く力を定着させるために、考えを筋道立て表現する方法を指導すると共に、語彙力を伸ばし、既習漢字を活用する指導を充実させる。	音楽	読譜能力やリズム感を定着させるために、フラッシュカードを使用したり、音楽に合わせて身体を動かしたりする活動を行っていく。
算数	自分の力で問題を解決する力をつけるために、図や数直線、式、表などを使って考えたり自分の考えを表現したりする活動を多く取り入れる。	図画工作	手や体を動かし材料や用具に十分に触れ、知識技能を身に付けるなかで、ICTを活用するなど多様な視点から表現の幅を広げる指導を行う。
社会	学習課題を解決するための必要な情報を資料から読み取る力をつけるために、グラフ、写真などの資料の読み方を丁寧に指導する。	家庭	課題解決のために見通しをもって、自分が実際にできるとしてさまざまな角度から解決方法を考えようとし、そのために必要な知識及び技能を身につけさせる指導を行う。
理科	自然現象と触れる機会を多くとり、得られた知見を日常生活と関連付けていくことで問題解決を図る授業を展開する。	体育	運動技術を理解したり、課題を把握したりするために、ICTを積極的に活用する。さらに、個々の課題に応じた活動につながる場の設定を工夫する。
生活	自然や社会と主体的に関わる力を伸ばすために、「なぜだろう」「どうしてだろう」という疑問がもてるような活動を多く取り入れる。	外国語	外国語を用いたコミュニケーションに前向きに取り組めるようにするために、児童同士がコミュニケーションをとる機会を設けたり、自信につながるような声掛けを行ったりしていく。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

様々な教科でタブレット端末を活用できるよう機会を多く設定する。具体的には、まとめとしてのスライド作りや写真に撮って記録することなど自分でまとめ方を選択できるように指導していく。